

情報分野IS領域のJABEE認定と その課題

2009・7・24

新潟国際情報大学

竹並 輝之

新潟国際情報大学情報文化学部

■ 情報文化学科 定員100名

■ 情報システム学科 定員150名

└─ 情報システム一般プログラム
└─ 情報システム技術プログラム

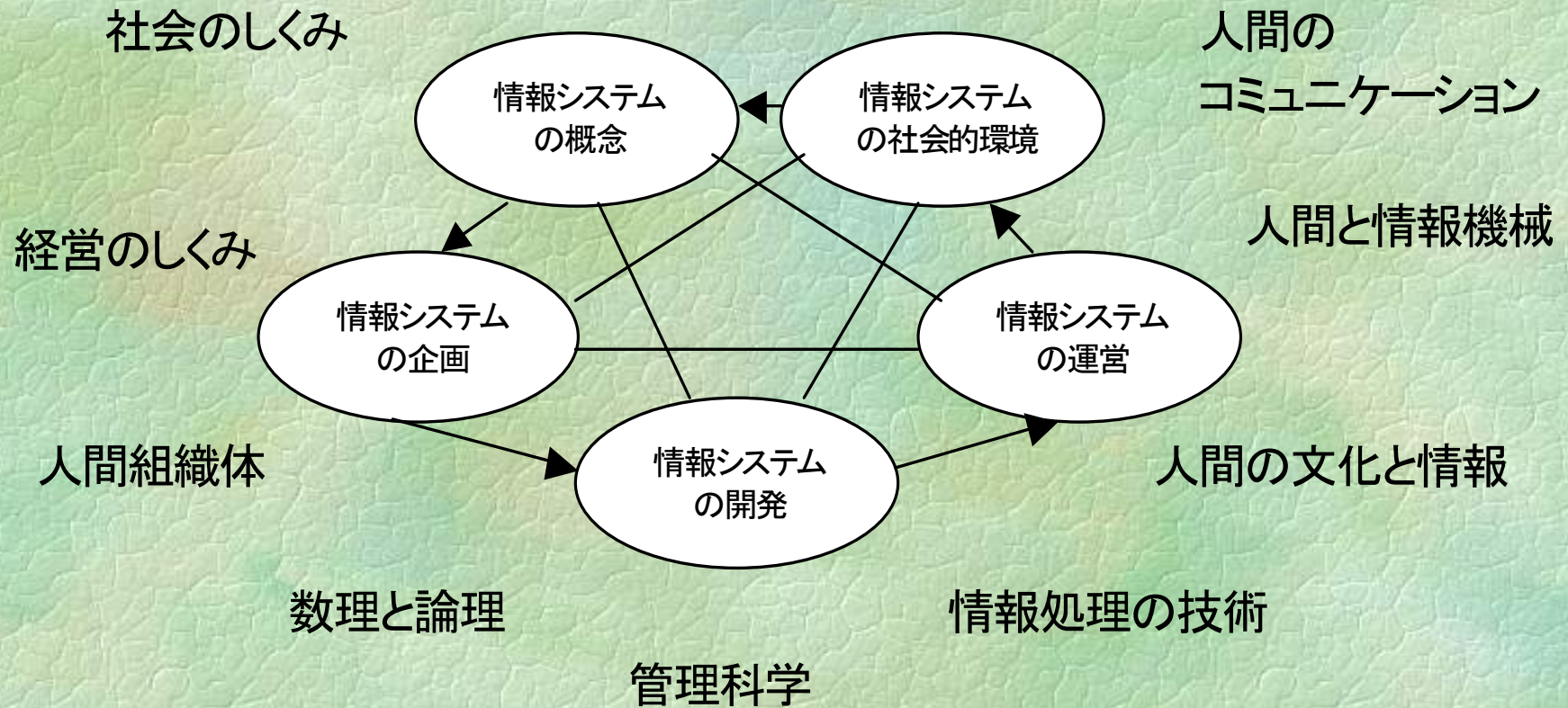
■ 情報システム学科の教育目標

「情報システムの企画・設計・運用に携わり、あるいは情報システムを活用することによって、ありうべき情報社会の建設に貢献できる人材の育成」

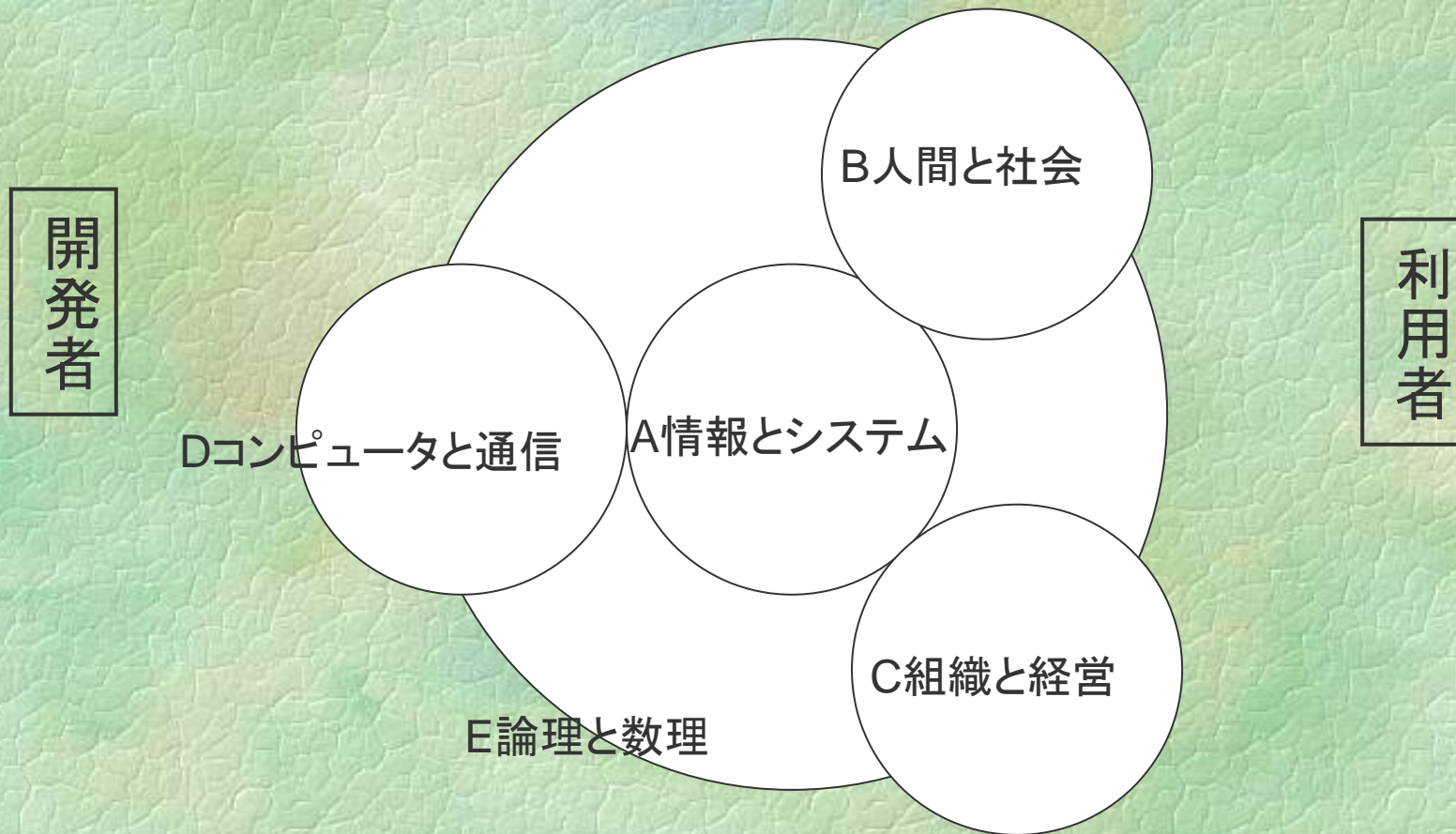
情報システムの定義

情報システムは人間活動の(社会的な)システムであって、情報の利用を望んでいる人々にとって、手に入れやすく、役に立つような形で、組織体(または社会)に適切な情報を集め、保管し、処理し、伝達するシステムである。(Buckingham)

情報システム学の体系



情報システム学科専門科目の構成



教育の方針

- 5分野のバランスを考えたカリキュラム
- 3年次後期からの専門分野の選択
- 演習を重視した実学教育
- 国際化対応
- 情報リテラシー教育と情報教育環境

カリキュラムにおける科目配置

1年次

2年次

3年次

4年次

情報と
システム

情報システム
情報産業

情報論
システム論
情報検索
生産情報システム

情報システム設計
情報システム開発
情報システム特論
会計情報システム

地域情報システム

人間と社会

コミュニケーション技
術
生活情報
科学と技術

心理と行動
人間情報工学
行動科学
言語情報処理
知識情報処理

生理機能と情報
認知科学 人工知能
社会理論と調査法
情報社会論 情報と法

生活と法律

組織と経営

ビジネスモデル
マーケティング

経営と組織
生産企画と管理

経営と情報
財務会計 管理会計
流通と物流 企業国際化
ベンチャービジネス

経営と法律
商品企画

コンピュータ
と通信

コンピュータシステム

コンピュータソフトウェア
アルゴリズム
プログラミング上級

コンピュータビジョン
データベース
分散コンピューティング
テレコミュニケーション

情報セキュリティ
マルチメディア情報処理
プログラミング技術特論

論理と数理

線形数学
論理と数理
統計と情報

生活統計 地域統計
システム数学
数値実験法 情報論理
モデリング数学

多変量解析
OR1
シミュレーション

OR2

演習科目の体系

入学時演習 (PC操作)

基礎演習 1, 2 (コミュニケーション、プレゼンテーション)

情報処理演習F (情報リテラシ)

情報処理演習U1,U2 (Excel,VB,SQL)

情報処理演習C1,C2 (プログラミング:C)

情報処理演習W (Webプログラミング)

情報システム演習 1, 2 (情報システム領域の基本技術)

専門演習A,B,C,D (専門分野ごとの演習)

卒業研究 1, 2, 3 (卒業論文作成のための調査、研究)

情報システム技術プログラム

- 情報システム技術プログラム履修者の決定方法
→3年次はじめに履修を申告
- 情報システム技術プログラム履修者の必修科目
→分野別要件に対応する科目の必修化
- 目標達成レベルの明確化
→必修科目はB評価以上
- C評価に対する挽回策
→科目をグループ化して選択必修化
→特定科目は再履修可能

情報システム技術プログラムの学習・教育目標

- (A) 健全な社会生活を営むための常識を持ち、多面的に物事を考え、他者と協力して問題解決に当たることができる力を育成する
- (B) グローバルなネットワーク社会で活躍するための、国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を育成する
- (C) パソコンとインターネットの利用方法を習得し、仕事や生活に活用できる力を育成する
- (D) 物事を論理的に考え、データを重視した的確な判断ができる力を育成する
- (E) 情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術、特に情報システム開発技術を習得することにより、情報システムの開発に携わることができる技術力を育成する

情報システム技術プログラムの学習・教育目標

(F) 自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力を育成する

以下のテーマのいずれかを中心として情報技術を問題解決に応用できる力を育成する

(G) 情報システムの企画、設計、構築

(H) 情報システムと人間の内面的、社会的活動の関係

(I) 情報技術を活用した企業経営と経営における情報システムの役割

(J) 情報システムを構成するコンピュータ技術とネットワーク技術

JABEE受審経過

- 2002年度JABEE試行審査受審
- 2006年度JABEE審査非認定
- 2007年度JABEE審査認定

2007年度プログラム修了生 27名

2008年度プログラム修了生 21名

受審時の指摘事項とその改善(1)

■ 開講回数不足

→ 休日に振替授業実施。授業実施記録用紙の作成。補講の実施。

■ 卒業論文の指導時間の確認方法

→ 卒業論文執筆日誌の作成。

■ シラバスの記述内容の不整合

→ 授業出席による評価方法の統一。

■ プログラム登録学生の抹消時期

→ 4年時開始以前に抹消と変更。

受審時の指摘事項とその改善(2)

- 自然科学系科目の履修時間不足
→ 自然科学系科目の選択必修化。
- 分野別要件の履修保証
→ 離散数学、確率、プログラミング言語の
諸概念、デザイン能力、情報倫理の見直し
と必修または選択必修化。

IS領域の認定における課題

- 研究対象が自然現象ではなく社会現象
- 社会システムのソフトウェア開発には数学的厳密性より経営組織、人間行動などの理解が重要
- 数学、自然科学の履修については工学系とは異なる基準が必要か？